

平成 26 年度第 12 回政策会議概要

- 1 開催日時：平成 26 年 11 月 11 日（火）9:30～9:52
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題 1 「新しいみえの文化振興方針」の策定について

●明石文化振興課長（資料 1-1、1-2 に基づき説明）

平成 20 年 3 月の「三重の文化振興方針」策定後の社会情勢等の変化や本県の文化行政を取り巻く環境の変化をふまえ、幅広い観点から 10 年先を見据えた本県の文化振興のあり方を検討し、新たな方針を策定するため、昨年 7 月から三重県文化審議会を開催して調査審議を行ってきた。今年 9 月に審議会からの答申が出されたことをふまえ、資料 1-2 のとおり「新しいみえの文化振興方針」を策定したい。方針策定後は、文化施策について情報共有や協議を行い、より効果的な連携を図るため、庁内関係課の実務担当者の皆さんにご参加いただいて連絡会議を設置し、開催することも検討しているので、その際には、ご協力をお願いしたい。

☆西城子ども・家庭局長

9 ページの（県民の皆さんとの関係）に、「県は、県民の皆さんとのパートナーとして」という記述があるが、これまでもそのような整理だったか。

●明石文化振興課長

これまではそこまで明確にしていなかったが、今回の方針で整理した。

☆西城子ども・家庭局長

パートナーの意味については、どんな議論があったのか。

●明石文化振興課長

文化審議会でご審議いただいた当初の案では、県は環境の整備や風土づくりに取り組むという記述のみであり、どちらかといえば、県は裏方という整理だったが、審議会委員からもっと県が前に出るべきとのご意見があったため、このような記述を追加したものである。

☆石垣副知事

文化審議会では、県の各部局がバラバラに取組を行うのではなく、連携すべきとのご意見をかなりいただいた。今後、各部局が連携して取り組むようお願いしたい。

☆高沖環境生活部長

文化審議会では、大元の県庁内部での連携が弱いのではないかとのご指摘があった。まずは、関係部局の皆さんに方針のことを理解していただいたうえで、連携を進めていきたいと考えている。方針策定後、庁内関係部局による連絡会議を開催していきたいので、ご協力をよろしくお願ひしたい。

議題2 適切な事務処理の確保について

●三宅コンプライアンス推進監（資料2に基づき説明）

インターネットメールアドレスの流出防止については、関係する指針・要領を改正し、インターネットメールを送信する時はBCCを原則とすることとしたい。

本資料と指針・要領の改正通知は本日発出するので（指針・要領は明日からの施行を予定）、全庁をあげての対応をお願ひしたい。

☆土井県土整備部長

ヒューマンエラーや単純エラーは注意喚起ではなくなる。TOではなく、BCCにカーソルが行くようにする等のシステム化が必要であると考える。

●三宅コンプライアンス推進監

現在、地域連携部IT推進課で費用や手法について検討中である。

☆渡邊危機管理統括監

インターネットの利便性は高いが、一歩間違えると県民の信頼を損なうことにつながり、その対応にあたる職員にも過重な業務負担が発生することになってしまう。一人ひとりがしっかり意識を持って、業務に臨んでいただきたい。

☆植田副知事

問題が発生した時は意識が高いが、時が経つと忘れがちになってしまうので、常に緊張感を持って業務に臨んでいただきたい。

☆水谷地域連携部長

システム化については、IT推進課において、当初予算に盛り込む方向で検討を進めている。

☆竹内戦略企画部長

個人情報保護条例の所管部局として、個人情報の適切な取扱いについて、十

分ご留意いただきたい。

☆鈴木知事

ここに出席の部局長自身は、メールで案内を送付するようなことはないと思うが、こういったルールで業務を進めていくということを、部下である職員がしっかり認識したうえで、緊張感を持って業務にあたるよう、部局長のマネジメントの腕の見せ所だと思うので、しっかり対応いただきたい。